

1 自己評価及び外部評価結果

(※外部評価はユニット別ではなく事業所全体のもので)

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	3070103316		
法人名	株式会社アニマート		
事業所名	あさひの家 【ユニット名:東棟】		
所在地	和歌山県和歌山市朝日21-1		
自己評価作成日	平成31年1月11日	評価結果市町村受理日	平成31年3月11日

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(↓このURLをクリック)

基本情報リンク先	http://www.kaijokensaku.mhlw.go.jp/30/index.php?action=kouhyou_detail_2018_022_kan=true&JigyosyoCd=3070103316-00&PrefCd=30&VersionCd=022
----------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	一般社団法人和歌山県認知症支援協会		
所在地	和歌山市四番丁52 ハラダビル2F		
訪問調査日	平成31年2月13日		

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

利用者様に安心して暮らして頂けるよう、家庭的な雰囲気、居心地の良い空間作りに努めています。日々の暮らしの中で、生きがいや達成感を感じられるように利用者様の心身の状況に合わせた役割を持って頂けるようなケアを提供しています。特に、外出を楽しみにされている利用者様が多く、月に一度は全員で出掛ける機会を持てるよう取り組んでいます。また、地域の皆様がボランティア活動にて来訪されることがあり、利用者様はみな大変楽しみにされています。地域での催事には積極的に参加し、地域交流を大切にしています。さらに、家族交流会を定期的開催し、利用者様、家族様、職員がともに過ごし、情報交換、意見交換をすることでぎずなを深め、連携を強化しています。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

リビングから広々とした田園風景が見渡せて、季節を感じる事ができる。食事の準備は生活の一部となっていて、買い物、調理、配膳なども、職員と利用者が協力して行っている。利用者が自分の持てる能力を活かして、庭で花や野菜を育てたり、文化祭に出品する作品、暖簾や雑巾を制作するなど、日常生活で生きがいを持って楽しめる支援が提供されている。地域の資源を活かし、フラダンス教室、落語、セラピー犬など、ボランティアの協力が得られている。日帰り旅行や食事会など、利用者が家族、職員と一緒に楽しむことができる様々な行事が用意されている。

V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1~55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項目	取り組みの成果 ↓該当するものに○印	項目	取り組みの成果 ↓該当するものに○印
56 職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25)	○ 1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんど掴んでいない	63 職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (参考項目:9,10,19)	○ 1. ほぼ全ての家族と 2. 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない
57 利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38)	○ 1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない	64 通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20)	○ 1. ほぼ毎日のように 2. 数日に1回程度 ○ 3. たまに 4. ほとんどない
58 利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	65 運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)	○ 1. 大いに増えている 2. 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くない
59 利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている (参考項目:36,37)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	66 職員は、生き活きと働けている (参考項目:11,12)	○ 1. ほぼ全ての職員が 2. 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない
60 利用者は、戸外に行きたいところへ出かけている (参考項目:49)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	67 職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
61 利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごしている (参考項目:30,31)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	68 職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○ 1. ほぼ全ての家族等が 2. 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどできていない
62 利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている (参考項目:28)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない		

自己評価および外部評価結果

(※外部評価はユニット別ではなく事業所全体のものです)

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
I.理念に基づく運営					
1	(1)	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	理念を職員間で理解し共有しています。朝礼時、唱和し、意識を高めています。	各ユニット毎に作成された理念を共有し、利用者が笑顔になるためには、まずは職員が笑顔でゆったりかかわることを大切にしている。	
2	(2)	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	自治会に加入し、地域活動に積極的に参加しています。民生委員、老人クラブの方々と交流、行事などの参加にも協力いただいています。	地域の文化祭に利用者の作品を出品したり、事業所の夏祭りや、餅つき大会に近隣住民を招くなどの地域交流が行われている。ボランティアの訪問や地域の養護施設のこどもたちとの交流も行われている。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	地域のボランティア様にご協力を頂いたり、見学希望など随時受付し、利用者様と一緒に出来る事を見て頂いています。		
4	(3)	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	運営推進会議は2カ月に1度実施。行事報告、今後の予定、課題、反省、意見交換を行っています。	地域から支所の職員、民生委員が出席して2カ月に一度、行事報告や検討事項を話し合っている。リビングルームの畳のスペースで行われ利用者との交流もみられる。	地域包括支援センター職員、家族の出席が得られるよう働きかけ、さまざまなテーマで話し合えることを期待する。
5	(4)	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる	定期的に市町村担当と連絡をとり協力を働きかけています。	機会を見つけて市役所に足を運び、協力関係の構築を図っている。	
6	(5)	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	利用者様の意思を尊重し、身体拘束をしないケアに取り組んでいます。玄関の鍵は常に開放し自由に出入りしていただいています。	身体拘束しないことが当たり前だという認識を持ち、利用者の気持ちに沿って散歩やドライブ、見守り等で、自由を妨げない安全確保に努めている。言葉による拘束についても、注意しあい、職員会議でも話し合っている。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	毎月スタッフミーティングを行い、高齢者虐待についても話し合い、理解し、実践しています。		

【事業所名】あさひの家(ユニット名:東棟)

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	現在、成年後見人制度を利用している方はいませんが、以前利用している方の後継人から学びました。日常生活については、家族様と話し合い出来る事は本人に託しています。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又はや改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	入居前に十分な話し合いの時間を設け、家族様、本人様の要望、希望をよく聞いています。退所時の説明も行い不安を感じないように話し合っています。		
10	(6)	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	利用者様との会話に時間をかけ、意見、要望を聞ける様にしています。家族交流会を開き、意見交換の場をもっています。	日ごろから家族とのコミュニケーションを大切にして、話しやすい関係を築いている。メールのやり取りなども使い、連絡を密にとり、意向を聞く機会をもうけている。	
11	(7)	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	毎月スタッフミーティングを行い、意見や提案を話し合う機会をもっています。	作品作成、行事の企画、外出支援など、担当者の提案、意見をユニットごとの会議で話し合い、支援に活かしている。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	働きやすい職場作りを目指しています。各自、自己評価を記入し話し合いの場をもち改善に努めています。		
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	研修に参加し、研修報告書を作成し勉強会を開いています。研修以外でも、課題を考え随時、勉強会をひらき実践に取り組んでいます。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	ネットワーク作りや、勉強会参加以外にも毎月各事業所に出向き情報交換にも力を入れています。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
II.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	利用前、本人と面談を行い状態を把握し、要望など聞き安心していただける様努めています。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスを導入する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	これまでの経緯をゆっくり聞き、家族等の要望に応じた対応、サービスができるかよく話し合うようにしています。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスを導入する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	状況確認し、必要としている支援を見極め対応しています。		
18		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	尊敬の念を持ちケアに心がけています。昔の知恵などを教えていただきながら、共に支え合い生き生きと生活しています。		
19		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	一緒に過ごす時間を大切にしています。家族交流会を開き、都度近況報告や今後の支援方法を考え話し合っています。		
20	(8)	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	本人の知人、友人が気軽に来れるように家族様にも働きかけています。外出時、馴染みのある場所にも出向いています。	年賀状、手紙の作成、電話等の支援で、馴染みの関係継続を支援している。利用者のなじみの場所にドライブで出かけることもある。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	利用者様同士の関係や、個性について全職員が共有できるように話し合っています。利用者様同士の関係が上手く行くよう、職員が調整に努めています。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	退所後も面会は継続し、家族様の要望にも相談にのり対応しています。		
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	(9)	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	本人の意向を尊重し、会話を多くもち希望に添った暮らしを提供しています。家族様からの情報も生かしています。	入浴時や食事の後の時間などに、利用者やゆっくり向き合い、思いを聞いている。意思表示の難しい利用者にも自己決定を表せるよう工夫し、望む暮らしの支援に努めている。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	一人ひとりの生活歴、生活環境の情報やこれまでのサービス利用の経過を本人や家族様から教えていただき把握に努めています。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	一人ひとりの行動パターンや生活リズムに合わせた対応、支援に心がけています。		
26	(10)	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	本人や家族様の意見を聞き、月一度、処遇会議を開き一人ひとりの向上を目指し、見直しを行っています。	利用者の言葉や様子を記録し、家族、職員、医師の意見を参考に計画作成して、状態が変化したときには、その都度検討して変更している。計画内容は利用者の問題部分を重視したものとなっている。	利用者の思いや、行動の背景も考慮し、自らの意思をもって主体的に行動し、よりよい暮らしができることにつながる計画書となることを期待する。
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	日々の変化については、毎日の申し送りにて把握しケアの実践を行っています。介護計画は三ヶ月に一度見直し支援しています。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	必要や要求に応じ柔軟な体制を取り一人ひとりに応じた支援を行っています。		

【事業所名】あさひの家(ユニット名:東棟)

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	地域のボランティア、老人クラブ、散髪の間が楽しみの一つになり活気に繋がっています。		
30	(11)	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	希望主治医による毎月の訪問診療、他受診希望、必要時には通院介助を支援しています。	連携する医師による月2回の往診がある。治療院とも連携し、希望者はマッサージの施術を受けることができる。かかりつけ医の受診には、家族とともに担当職員が同行して、状態の説明をおこなっている。	
31		○看護職との協働 介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	かかりつけ医の看護職の方々に情報を伝え適切に対応して頂いています。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入院時本人の援助方法を提供しカンファレンス、情報交換を行い早期退院できるようにしています。		
33	(12)	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	状態の変化が見られた時は今後の方針を関係者と話し合い、支援に繋がっています。	入居時に事業所の終末期の対応について説明している。利用者の状態の変化のある時には、連携している医師や担当職員、家族で話し合っており、看取りに必要な支援を行っている。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	全職員が応急手当、初期対応を行えるよう毎年救急救命の講習を受講しています。		
35	(13)	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	毎年消防署の協力で救急救命、避難訓練を受講しています。定期的に入居者様を交えた自主訓練も行っています。	年に2回利用者と避難訓練を行っている。食料、飲料水の備蓄も行い、定期的に交換している。毎年4月に消防署の職員の指導で、救急救命の学習会をおこなっている。	

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	(14)	○一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	個別の行動パターンを把握し、プライバシーに配慮した言葉かけを意識し速やかに対応しています。	利用者の言葉や反応をみて、家族の声も聞きながら、その人にふさわしい声掛けに努めているが、時に羞恥心への配慮に欠ける言葉掛けが見られる。	排泄の確認や、プライベートな内容の会話など、本人の気持ちへの配慮を常に意識することが望まれる。
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	一人ひとりに合わせた言葉かけをし、自己決定できるような場を作っています。意思表示困難な方には過去の生活歴をもとに支援しています。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	一人ひとりのペースを大切に希望に応じた対応を心掛けています。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	男女問わず必要に応じ対応しています。好みや希望を取り入れた支援を行っています。散髪については、二カ月に一度ボランティア来訪して頂いています。		
40	(15)	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	好みの献立を取り入れたり、買い物、準備や片付けにも参加して頂いています。	利用者も買いもの、調理、盛り付けに加わって食事を楽しめるよう取り組んでいる。時候のよいときは、中庭で焼肉を焼いて食べたり、おにぎりを作って近くにピクニックに出かけることもある。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	一人ひとりの食事量については把握し、栄養バランスを考えたメニューを取り入れ、水分補給はおやつ時以外にも常時ポットを置き好きな時に摂って頂いています。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後、うがいを促し就寝前の歯磨きを実施しています。義歯は毎日、洗浄剤を使い清潔に保っています。		

【事業所名】あさひの家(ユニット名:東棟)

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
43	(16)	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	1人ひとりの排泄パターンを把握し、トイレで排泄出来るよう、声かけ誘導を行っています。	各居室にトイレが設置されている。利用者一人ひとりの排泄パターンを把握し、様子を見ながら誘導して排泄の自立を支援している。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	栄養バランスを考えた食事を取り入れたり、音楽体操や散歩を取り入れ、水分も常に摂って頂いています。		
45	(17)	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々にそった支援をしている	一人ひとりの希望を聞き、利用者様に決めて頂き意思を尊重しています。	浴室入り口に「ゆ」と書かれた暖簾が掛けられ、ゆず湯や温泉の入浴剤を使うなど、入浴を楽しめるよう支援している。基本は午後の入浴になるが、それ以外の時間でも希望する時間に入れる。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	一人ひとりの生活習慣を取り入れ、休息など状況に応じ対応しています。寝具は常に整え心地よくしています。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	薬の内容は、職員同士目的、副作用、用法や容量は主治医説明、処方箋を基に理解している。変化については、その都度主治医に相談しています。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	一人ひとりに出来る事があり、日常生活においては、常に役割を持って頂き、張り合いや喜びを感じて頂いています。カラオケやドライブも実施しています。		
49	(18)	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるよう支援している	希望に応じ買い物に同行して頂いたり、散歩に誘っています。他、月に一度の外出や、思い出のある地域へのドライブを取り入れています。	月に1度利用者全員で外食を楽しめるよう支援している。年に1度の日帰り温泉旅行には、ほとんどの家族が同行している。食材の買い物、散歩、ドライブ、季節の行事など、外出の機会が多く持たれている。	

【事業所名】あさひの家(ユニット名:東棟)

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	家族様から財布に一定の金額を入れて頂き、買い物に出かけた時は欲しい物を買って頂けるようにしています。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	電話は掛けたい時、何時でも利用して頂いています。年賀状、暑中見舞い、手紙の返信にもやり取り出来るよう支援しています。		
52	(19)	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	玄関やフローアには季節の花や作品など飾り、季節感を出しています。リビングの窓は大きく開放感があり、田園風景を楽しめ、椅子やソファを配置しくつろぎのスペースを提供しています。	中庭に季節の野菜や花を植えている。リビングには利用者と職員が一緒に作った季節感に溢れた作品飾られ、手摺としても使える木製の収納が設置されている。ベンチや、和室のこたつなど様々なくつろぎの場が用意されている。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	自室でくつろげるのはもちろん、思い思いに過ごして頂けるよう、椅子やソファを配置しお茶を楽しんだり話をしたり、のんびりと過ごして頂いています。		
54	(20)	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	入所時に家で使い慣れた家具他、本人にとって必要な物を持って来て頂いています。	利用者個人の、照明器具、タンス、カーテンを配置し、家族の写真や手作り作品を飾り、その人らしい雰囲気のある部屋になっている。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	廊下に備え付けの収納棚があり、手すり代わりに使用されています。調理台は使いやすいように低いテーブルを用い、調理しやすいようにしています。		